

## 新型コロナウイルス感染症対策としての JPPF 活動再開ガイドライン

- 1、日常的に、体温を測る、手洗い、うがい、マスク着用の習慣をつける。
- 2、練習場、または、練習場近辺でクラスターが発生するなど問題が生じた場合は、連盟練習は中止とする。
- 3、新型コロナウイルス感染が疑われた場合のガイドライン。

連盟関係者でウイルス感染が疑われた場合、個人情報に留意しながら、関係各位に情報提供するとともに、JPC に添付の書類を提出する。

### 4、日常トレーニング場での練習

- ・入場前に体温チェックを行う。(37.5 度以上は入室禁止)

入場選手の名前、入場日時、体温、体調チェック(咳、鼻水、のどの痛み、頭痛、悪寒など)退館日時を記載し、保存しておく。

名簿には、関係者全員の氏名を記載しておく(選手、コーチの他、帯同者等)

※ 注意: 日常練習場所によって、要請される内容が多少異なりますので、ご注意ください。

- ・手をアルコール消毒して入場。
- ・補助をするとき、インターバル時はマスク着用。
- ・密にならないよう、選手、コーチ共 2m 程度離れる。(市松模様配置———図参照)

市松模様配置

パワーハウスのトレーニング場(10x10mの大きさの場合)

最大でも 13 名以下とし、これを超える場合は入場制限を実施する

	2m	2m	2m	2m	2m
2m	選手		選手		コーチ
2m		コーチ		選手	
2m	選手		コーチ		選手
2m		選手		選手	
2m	選手		コーチ		選手

- ・一人 8 平方メートルを保てる人数を限界とし、これを超えたトレーニング場の場合、入場制限をすることとする。(市松模様配置———図参照)

- ・日常トレーニング場のスタッフは、選手が交代するごとに、シャフト、ベンチ台、その他機器のアルコール消毒をすること。
- ・基本的に公共機関の利用を極力避ける。更衣は自宅で済ませ、ロッカールームを使わないよう、また、シャワーも帰宅するまで我慢する。
- ・換気に注意を払い、入り口のドアは開けておく。
- ・夏の期間は暑熱対策を徹底し、日射病等に十分配慮できる環境を用意する。

## 5、合宿での練習

- ・合宿前 2 週間の体温チェック、体調チェック(席、鼻水、のどの痛み、頭痛、悪寒等) 行動記録を取り、合宿初日に提出する。
- ・入場前に体温チェック、その他体調チェックを行う。(37.5 度以上は入室禁止)
- ・手をアルコール消毒して入場。
- ・補助をするとき、インターバル時はマスク着用。
- ・密にならないよう、選手、コーチ共 2m 程度離れる。
- ・一人 8 平方メートルを保てる人数を限界とし、これを超えたトレーニング場の場合 は、入場制限をすることとする。(市松模様配置——図参照)
- ・日常トレーニング場のスタッフは、選手が交代するごとに、シャフト、ベンチ台、そ の他機器のアルコール消毒をすること。
- ・基本的に公共機関の利用を極力避ける。更衣は自宅で済ませ、ロッカールームを使わ ないよう、また、シャワーも帰宅するまで我慢する。
- ・合宿所の建築構造により、場所により異なるが、換気に注意を払い、換気が十分でき る状態で、合宿を実施する。
- ・夏の期間は暑熱対策を徹底し、日射病等に十分配慮できる環境を用意する。